

スーダングラスの刈取について

原田角郎*・平野米人*・大曲初美*

HARADA, K., HIRANO, Y. and OMAGARI, H.
On the Soiling of Sudangrass.

1. 緒言 スーダングラスはアフリカ原産の1年生の作物で、九州のように夏期において、高温と乾燥とが伴う地帯にても旺盛な生育をする。青刈用には勿論、今後考えられる乾草用としても秀れ、集約的な草

地、開拓地、畑や田畑輪換地にも好適な夏作物である。その再生力は他の作物より強く、一般に若刈の傾向があつて、刈取回数も多い。しかし、刈取時期や刈取高さによつて、次の再生へ及ぼす影響は少ないものと思われるので、生育ステージ別による刈取期及びその刈取高さをかえて刈取試験を行つた。

*佐賀県農業試験場

2. 試験方法 品種はチフト種を用い、播種量1a当たり0.5l, 施肥量は硫安7.5kg, 過石6kg, 塩加1.1kg, 堆肥75kgを施用し、6月7日に播種した。刈取時期は草丈が80~100cm, 120cm, 180cm(穂孕期), 出穂期, 糊熟期の5生育ステージになればそれぞれ刈取り, その刈取高さを各々, 地際刈及び10cm刈とした2カ年の成績は次の通りであった。

3. 試験成績 播種当時は乾燥が2カ年共続いたが発芽良く, 生育も非常に良く, 熱帯性作物の能力を発揮した。

4. 考察 若刈ほど刈取回数が多いが, 総計収量は

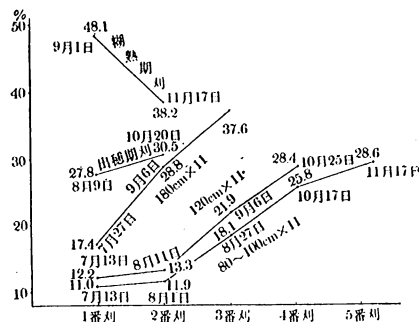
第1表 スーダングラスの総収量

(2カ年 3区平均)

区分	刈取高	刈取回数	草丈	葉数	1a当り	1a当り
					生草総量	風乾総量
			cm	枚	kg	kg
80~120cm	地際	5番刈	76.8	4.6	239.88	49.402
	10cm	5	90.5	4.8	335.95	61.122
120cm	地際	4	115.6	5.7	356.63	67.52
	10cm	4	122.3	5.6	390.89	72.88
180cm (穂孕期)	地際	3	147.7	7.0	556.80	134.449
	10cm	3	152.4	7.3	546.02	145.380
出穂期	地際	2	197.2	8.1	523.89	151.06
	10cm	2	187.5	8.0	482.41	142.70
糊熟期	地際	2	158.7	7.3	483.76	221.366
	10cm	2	162.3	7.4	455.10	196.549

備考: 最終刈取期の草丈, 葉数は処理区分より低く, 平均値は低下している。

第2表 スーダングラスの風乾重歩合の変化 (地際刈り)



少くなつた。従つてスーダングラスの再生力を過信した青刈慣習による刈取の方法として、一番多い80~100cm位で刈取る若刈は最も不経済であると云える。家畜のため止むを得ぬ場合は高刈したが良い、生草総収量の最も多かつたのは180cm刈区であるが、風乾総収量の多かつたのは糊熟期刈である。高刈の効果は刈取回数の多い若刈に見られ、180cm刈を境に逆転し、刈取回数の少い遅刈には地際刈が良い。風乾重歩合は若刈程少いが、同じ生育ステージに刈つたものでも8月上旬以降は急激に増加した。

参考文献

江原 薫: 飼料作物学下巻。